

## 開頭手術なしに 治療効果が直ぐに現れる 超音波と磁気共鳴画像で ふるえ症状治療

標的の組織を熱で破壊  
体の負担が少ない

本態性振戦やパーキンソン病による手のふるえ(振戦)で字が上手く書けない、箸が使えないなどといった症状に対し、『MRガイド下集束超



本態性振戦やパーキンソン病による「手のふるえ」「運動障害」の軽減を図る治療。



小林浩之  
集束超音波治療  
センター長  
富山大学医学部  
卒。医学博士。日  
本脳神経外科学  
会専門医。日本神  
経内視鏡学会技  
術認定医。日本経  
頭蓋MRガイド下  
集束超音波治療  
研究会世話人。

音波治療(FUS)とい  
う方法で治療実績を重  
ねているのが「柏葉脳神  
経外科病院」の『集束超  
音波治療センター』だ。  
薬物治療によって改善し  
ない振戦に対して行う脳  
外科手術であるが、全  
身麻酔や開頭手術の必  
要がなく、体に負担が  
少ない治療法という。『F  
US』は、磁気共鳴(MR)  
画像と超音波を組み合

わせた治療法。精密に  
撮影されたMR画像を  
基に、多数の素子から発  
せられる超音波をふるえ  
の原因となる神経回路  
の二点に集めて、その部  
位を熱凝固することでふ  
るえの回路を遮断する。  
この原理は、虫眼鏡で光  
を集めて熱を発する様  
子と似ている。治療中は、  
MR画像で照射位置と  
温度をリアルタイムに測



診 月・火・木曜日9:00~17:00  
水・金曜日9:00~12:00  
休 土・日曜日・祝日

定しながら進めることで  
安全性も高めている。効  
果は治療後すぐに得ら  
れるため、患者さんの喜  
びも大きい。小林浩之  
センター長をはじめ、脳  
神経外科と脳神経内科  
の専門医、放射線技師、  
看護師、リハビリ技師が  
それぞれの専門性を生  
かしながらワンチームで  
治療にあたっている。

(ライター/斎藤 聡)

社会医療法人 柏葉会 柏葉脳神経外科病院

かしわぼのうしんけいけかびょういん

☎ 011-851-2333

㊤ 北海道札幌市豊平区月寒東1条15-7-20

<https://www.kashiwaba-nougeka.or.jp/>